

第59回 AMG 学会

【演題名】ニプロ社製逆止弁付穿刺針シールタッチカニューラの評価検討

① 今回の学会・研修の内容

今回の学会のテーマは、「今こそ新しい時代に踏み出そう、愛される医療・介護」です。昨今、社会情勢や医療業界が変化していく中、「患者様のための医療」を踏まえて愛される医療・介護を実現するために、他施設・他職種の見識を深めていき、技術向上に向けて進んでいかなくてはなりません。本学会では、医療・介護の質の向上に向けて職員同士の業務内容を理解し、これからの時代の医療に対する新たな業務開拓や医療技術向上に向けた見識を深める学会になっています。

② 今回の学会に参加した感想や印象に残った発表

今回のAMG学会もweb開催でした。実際にその場で情報交換や見識を深め合うことが出来ず残念ですが、動画を視聴してとても興味深い発表が多くありました。これからの医療・介護の発展に繋がっていきたいと思いました。

学会のテーマである「今こそ新しい時代に踏み出そう、愛される医療・介護」とあるように、2024年度より医療や介護に様々な改定が予定されています。それに伴い、私たち医療従事者は柔軟に対応していかなくてはなりません。動画視聴を経て、各学部より様々な観点から今後の医療の質の向上に向けて見識を広げ深めていき、役に立てるように努めていきたいと思っています。

上尾中央第二病院 澤向菜々恵 東京医薬看護専門学校出身



録音中



録音中



部署内発表



AMG学会視聴中

ニプロ社製逆止弁付穿刺針シールタッチカニューラの評価検討 ～メディカットセーフティカニューラとシールタッチカニューラとの使用比較をへて～

I.研究目的

近年、血液逆流防止弁がついた穿刺針の普及が進んできており、当院では2014年よりモザークメディカルジャパン社製メディカットセーフティカニューラを使用している。今回、ニプロ社より新たに「シールタッチカニューラ」が改良販売されたため評価検討した。

II.研究方法

ニプロ社製逆止弁付穿刺針の使用に同意が得られた維持透析患者12名を対象とし、実血流量、静脈圧を測定した。また、シールタッチカニューラを使用したスタッフに穿刺感覚、操作性等の主観的項目をアンケート調査した。

III.結果

シールタッチカニューラの方が静脈圧が高かったが、設定血流量に対して実血流量に大きな乖離はみられなかった。アンケートでは、針が持ちづらく逆血が分かりにくい、穿刺時に内筒が戻るなど操作性でマイナスイメージの意見もあったが、カニューラ内のエア抜機構やテープ固定は問題無いとの意見も多かった。

IV.考察

今回の評価にあたり、各社カニューラの形状・全長等が異なる事で穿刺角度や感覚も変わるため、カニューラの変更時は穿刺スタッフに確認やトレーニングを実施するなどカニューラの特長を事前に理解することが重要だと思われる。

V.結論

今回評価したニプロ社製シールタッチカニューラはメディカットセーフティカニューラに比べ、静脈圧は高くなるが、しっかりと実血流量が確保できるカニューラであった。

引用文献